

日 退 教

事務局だより

日本退職教職員協議会

発行責任者 竹田邦明

17-3

2017 年 6 月 14 日

(FAX送信 2 枚)

共謀罪 強行採決を許すな！ 絶対廃案に！

安倍政権は、森友・家計学園問題の真相究明はホッタラカシにし、これまでの審議でいい加減な法案であり、問題、課題が山積みであることが明らか。「共謀罪」法案を強行採決・成立させようとしています。今日・明日が山場となっており、全国各地で法案反対・成立させるなど、さまざまな運動・集会が行われていることと思います。国会周辺でも連日集会・座り込みが行われています。

さる6月10日、国会周辺は安倍政権に対する市民の怒りの輪が取り巻きました。「戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委」や「基地の県内移設に反対する県民会議」「止めよう！辺野古埋立て国会包囲実行委」が主催した「止めよう！辺野古埋立て 共謀罪法案は廃案に！6.10 国会大包囲」の行動が行われ、1万8千人が参加しました。

集会は国会周囲の4カ所で行われ、このうち、戦争をさせない1000人委員会（日退教はここに参加）が運営する国会議員会館前エリアでは、主催団体として、1000人委員会事務局長の内田雅敏さんが「戦争法に続いて、現代の治安維持法の共謀罪の成立、辺野古新基地建設を絶対に許してはならない。森友学園や加計学園問題等も含め、安倍政権を徹底的に追及しよう」と呼びかけました。

さらに、同県民会議事務局長の太田悟沖縄平和運動センター事務局長（顔写真左）は「今も違法な工事が行われている辺野古で、本日1800人が集まり連帯集会を行った。県民の民意を踏みにじる安倍政権を許さず、沖縄を戦場にさせない闘いを続ける」と決意を表明。また、辺野古現地から「ヘリ基地反対協議会」共同代表の安次富浩さんも登壇し、「我々は

権力の弾圧を恐れない。民主主義は勝ち取るものだ。沖縄の問題を日本全体の問題として闘おう」と訴えました。

さらに、オール沖縄会議共同代表の稲嶺進名護市長が、沖縄平和運動センターの山城博治議長が不当に長期勾留されたことをあげ「これは共謀罪を先取りし、反対運動を萎縮させようとするものだ。辺野古に基地は絶対に作らせない」と力強く語りました（右写真）。

一方、共謀罪の問題では、日本体育大学の清水雅彦教授が「沖縄基地問題と共謀罪の根は同じ。強行採決を許さず、法案を阻止しよう。そのため、学者もがんばる」と決意を述べ、弁護士の米倉洋子さんも「共謀罪は一般市民の基地反対運動も対象になるものだ」と警鐘を鳴らしました。

日退教からは関東ブロックの会員のみなさんが多数参加、さらに前日の日退教総会に代議員として参加された関東以外の会員の皆さんの参加もありました。

強行採決が伝えられてきます。あきらめることなく声を上げましょう・

